

最上クロスロード

国道13号 新庄金山道路通信

第2号 令和5年7月 発行

◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから、「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新たなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路、金山道路、真室川雄勝道路と国道47号新庄古口道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先> 国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設監督官室
〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)
TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/shiniji/index.html>

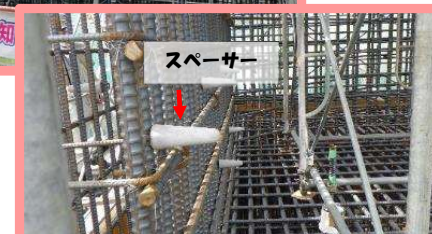
山形県建設技術協会の皆様が 見学に来ました!



令和5年6月1日(木) 山形県建設技術協会本庁・最上支部の50名が技術研修の一環で、新庄古口道路・新庄金山道路を訪れ、見学会を行いました。新庄金山道路では、新庄金山地区改良工事【(仮称)金山南IC】周辺と(仮称)荒屋こ道橋下部工工事を見学し、ICT施工について新庄国道維持出張所の加藤監督官から説明を受けました。



データを確認しながら作業を
進めています。
この画面では、転圧の回数
がわかるようになっています。



新庄金山地区改良工事【(仮称)金山南IC】

新庄金山地区改良工事の現場ではICT施工で工事を進めています。
ドローンによる測量→3次元設計データ作成→ICT機械セットアップ・ICT機械による施工→測量・出来形管理と作業を進めています。

ICTの活用による情報化施工及び、建設現場の職人による高度な技術の継承により、安全性と生産性の向上を実現することができます。

荒屋こ道橋下部工工事

荒屋こ道橋下部工工事現場では、A1橋台底版部のコンクリート打設が終了しています。

写真は、コンクリート打設前の状態です。下の写真の白い部品は、スペーサーというもので、鉄筋と型枠のスペースをすることによりかぶり確保し、構造物の耐久性を確保するために使用されます。

i-Construction (アイ・コンストラクション)

国土交通省では、「ICTの全面的な活用(ICT土工)」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Constructionを進めています。